

せつめい文を よんで えらぼう

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 金魚の水を よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

金魚の水が よごれて きたら、ぜんぶ 入れかえたく なります。でも、一どに ぜんぶ かえると、水の ようすが 大きく かわって、金魚が よわる ことがあります。水は、少しずつ かえる ほうが、金魚に やさしいのです。

1 金魚の水そうは、まどの そばに おくと よごれやすい。

2 金魚の水は、くんで ひとばん おいてから 入れる。

3 金魚の水は、何回かに 分けて 少しずつ かえる。

4 金魚の水は、こまめに きれいに する ことが 大切だ。

2 きゅうしよくを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

きゅうしよくを 早く くばろうと、くばる 人を ふやしました。でも、ぶつかって しまい、かえって おそく なりました。とりに くる じゅんばんを きめると、早く くばれる ように なりました。こぼす 人の 数は、あまり かわりません。

1 きゅうしよくは、じゅんばんを きめると 早く くばれる。

2 きゅうしよくは、くばる 人を ふやすと こぼれにくい。

3 きゅうしよくは、じゅんばんを きめると こぼれにくい。

4 きゅうしよくは、くばる 人を ふやすと 早く くばれる。

3 こまを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

こまを 長く 回したくて、ひちを 強く 引いて いました。でも、まき方が ゆるいと、こまは すぐに たおれて しまいます。ひちを すきまなく きつく まいて、ふつうに 引くと、長く 回る ように なりました。

1 こまは、ひちを 強く 引くと まっすぐ 立つ。

2 こまは、ひちを きつく まくと まっすぐ 立つ。

3 こまは、ひちを 強く 引くと 長く 回る。

4 こまは、ひちを きつく まくと 長く 回る。

4 ふうせんを よんで、この 文で いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう。

ふくらませた ふうせんを、さむい 外に しばらく おくと、少し しぼんで 小さく なります。空気が もれた わけ ではありません。中の 空気は、ひえると ちぢみ、あたたまると ふくらむのです。

1 ふうせんは、かみの 毛で こすると かべにつく。

2 ふうせんの中の 空気は、ひえると ちぢむ。

3 ふうせんは、外に おくと 空気が もれて しぼむ。

4 ヘリウムの ふうせんは、空気より かるくて うく。

せつめい文を よんで えらぼう【こたえ】

小2／文章を よんで、いちばん 言いたい ことを 1つ えらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

『一どに ぜんぶ かえると…金魚が よわる』『少しずつ かえる ほうが、金魚に やさしい』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

2 答え：1

人を ふやすと『かえって おそく になりました』。じゅんばんを きめると『早く くばれるようになり ました』。こぼす 人は『あまり かわりません』。

3 答え：4

強く 引いても『すぐに たおれて しまいます』。きつく まくと『長く 回るようになり ました』と あります。ほかは 文と 食いちがうか、文に 書いて いません。

4 答え：2

『空気が もれた わけでは ありません』『ひえると ちぢみ、あたたまると ふくらむ』と あります。ほかは 文に 書いて いません。

読み取るコツ

さいごの 文の まとめを 見つけます。文に ない ことは えらびません。